

おりひめちゃんが行く！

# 交野戦国絵巻 四の巻

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)



## 私部城の姿を求めて

24年度から25年度にかけて、私部城跡では堀跡の発掘調査が行われ、地面を掘り下げて、堀の深さや形がどうなっていたかを調べました。その結果、私部城の周りからは、自然の地形を巧みに利用しながら、何重にも巡らせた堀の跡が見つかっています。

戦国時代が終わると、私部城では、不要となった土塁(土を高く盛り上げて築いたとりで)が削られ、堀は埋められて、畑や田になりました。

こうして地中に埋もれた私部城の元の姿を探るため、出土する瓦や土器から地層の年代を調べて、戦国時代の地層を見つめます。上写真は、本郭と二郭の間にあった堀を調べているところです。

調査を重ねていくことで、難攻不落の「堅城」と呼ぶにふさわしい、私部城の本来の姿が明らかになります。

## 発掘調査の様子

本郭南側



二郭東側



本丸池東側



## 私部城の瓦

これまでの発掘調査で発見された大量の瓦が、私部城で使われたものだと分かってきました。大坂城のように瓦を使う石垣の城は、織田信長が築いた安土城以後に広まったもので、それ以前の土塁の平城で瓦が使われているのは、とても珍しいことです。私部城は守りが堅いだけでなく、流行を先取りした城でもあったようです。

